

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録			
会議の種類	令和6年度第1回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日 時	令和6年8月20日（火） 18:30～20:05		
場 所	市役所3階大会議室		
出席者 (16人)	山陽小野田市民生児童委員協議会	煤 崎 八 由 美	(委 員)
	山陽小野田市立山口東京理科大学	恵 谷 誠 司	(委 員)
	山陽小野田市健康増進計画推進委員会	小 柳 朋 治	(委 員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	高 木 理 代	(副会長)
	山 陽 小 野 田 歯 科 医 師 会	田 中 裕 基	(委 員)
	山 陽 小 野 田 市 自 治 会 連 合 会	千々松正俊	(委 員)
	一 般 公 募	土 井 さ つ き	(委 員)
	山口大学大学院医学系研究科	長 谷 亮 佑	(委 員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半 矢 幸 子	(委 員)
	山 陽 小 野 田 医 師 会	廣 田 勝 弘	(会 長)
	一 般 公 募	柊 本 晴 美	(委 員)
	山 陽 小 野 田 薬 剤 師 会	松 垣 裕 明	(委 員)
	山 口 県 栄 養 士 会	三 井 洋 子	(委 員)
	山 口 県 理 学 療 法 士 会	三 戸 洋	(委 員)
	山陽小野田市社会福祉協議会	森 重 陽 子	(委 員)
	山 口 県 看 護 協 会 小 野 田 支 部	山 本 浩 子	(委 員)
欠席者 (4名)	山 陽 小 野 田 市 連 合 女 性 会	井 上 幸 子	(委 員)
	山 口 県 精 神 保 健 福 祉 士 協 会	植 木 亨	(委 員)
	ヤ ク ル ト 山 陽 山 口 支 社	福 濱 栄 士 郎	(委 員)
	山 陽 小 野 田 市 小 学 校 校 長 会	森 重 健	(委 員)
オブザーバー	山 口 県 宇 部 健 康 福 祉 セ ン タ ー	野 村 洋 子	
事務局	福 祉 部 長	吉 岡 忠 司	福祉部次長兼高齢福祉課長
	福祉部次長兼子育て支援課長	石 田 恵 子	健康増進課長
	技 監	大 海 弘 美	主 査 野 原 崇 史
	健 康 増 進 係 長	山 本 真 由 実	健康増進係長(食育)
	健康増進係長(成人)	伊 藤 比 呂 子	加藤諭香江

会 委	長 員	1 福祉部長挨拶 2 委員・職員紹介 3 議事 (1) 令和6年度保健事業計画について (事務局から説明) 質問・御意見等ないか 特になし
	委 員	(2) 第2次健康増進計画中間評価および自殺対策計画について (事務局から説明) (長谷委員から健康増進計画および中間評価結果について説明) 食生活のアンケートに家族構成の項目は入っているか。また、行政で実施する調査はサンプル数が重要だと思うが、例えば20歳代男性は28人、30歳代男性は41人でパーセントを出しているが、数が少なすぎるため、それで本当に20歳代30歳代全体を表している数かどうかを検討はされたか。
事 務 局		家族構成については質問の中に入っている。それから、サンプル数については、1,500という数字を目指しているが、そこまでにはたどり着いていない状況。性別や年代別で比較する際には、やはりサンプル数の影響が多い部分もある。
委 員		例えば食生活を家族形態で分けてみるっていうのも1つ。どこに原因があるのかとか、勤務の状態とかも把握されているのであれば、そういったものも、評価できると思う。それから、運動と身体活動。1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回とあるが、家事の労働は結構ハードだと思うが、家事労働であればこの目標をクリアしてる人が多いと思うがいかがか。
委 員		家事労働に関しては、軽く汗をかく運動には入らないが、意識的に体を動かすように心がけてますかという項目に、家事を行う、階段を使う、買い物で遠くに駐車するなどの日常生活の中の行動は、そちらの質問で変化を見ている。先ほどご指摘された家族構成や職業の質問も入っているが、データ数が少ないので、細かい分析をするには、統計的な分析ができる数にはなっていない。3,000部配って回収率が50パーセントであれば、1,500の回答が得られて、市民の2.5パーセントぐらいになるので、それぐらいは欲しい。ちなみに山口県がされている県民意識調査は、各市町で大体1,000程度、その1パーセント程度。今回の調査の方が割合的には多い。ただ、委員の言われた通り、やはり20代は特に回答率も悪いので、例えば喫煙率は1人吸っていると喫煙率が上がってしまうなど、統計と言えないものになってしまっている。
委 員		資料2の○や△の評価は、形成的な判断で評価をしているように思うが、目標値の何割到達してなかったら×にするなど、もう少し計量的にならないか。
事 務 局		今ご指摘いただいたところは、確かに主観的なところもあるので、また

委員 会長 事務局 委員 委員 会長 事務局 委員	検討したい。 例えば、朝食を毎日食べる市民の割合で、中学校 2 年生 84.9%が 83.2%で、×になっているが、ほとんど変化がないと思う。評価は本当に難しいと思うが、まあ目標値に達するように頑張りましょう。 資料 2 の評価で、こんな取組をしたとか大きな変化があったからこういう評価になったとか、事務局でも考察されたか。 運動の取り組みで改善している理由はということによろしいか。 市では、先ほどもご紹介させていただいたが、スマイルエイジングを進めており、その中でも、コロナ禍では運動に重点を置いて取り組みを行おうということで、ウォーキングイベントや体操等をしっかり行ってきた。市民体操 S O S おきよう体操についても、かたつむりで行こう会の方も運動の普及活動をしていただいているので、そのあたりで少しずつ成果に結びついているのではないかなと思う。 ソーシャルキャピタルの活動も目標が達成している箇所が多かったので、その関連はあるかもしれない。今日の議論はアンケートの結果を見て、これからどんな取組をすれば指標となっている項目の目標値を上げられるか。そういったご提案があれば、より事業に活かしていけるかなと思う。 がん検診の受診率が下がった原因の一つがコロナかもしれないという話だったが、市としてもがん検診に関しては、いろんな機会を設けていて、受ける気になったら誰でも受けれる状態だと思うが、それなのにどうして受ける人が少ないのかというと、広報不足かもしれない。年代別でどれぐらい受けているかわからないが、例えば薬局でもがん検診の案内などの取組はされているか。 薬局でのがん検診の周知は、さほど積極的ではないが多少のことはやっている。市から準備していただいたチラシ等を薬局に常時設置して、興味のある方は取っていただいている。それを私たちから一言声をかけるというようなことまでは今のところできてないのが現状。 がん検診受診率についてはずっと低い状態が続いて、山口県自体が全国的に非常に低い中で、文化的なところもあるが高めていけないと思う。その中でも、女性のがん検診は若干の回復が見られたが、その辺りで取り組まれたことはあるか。 女性のがん検診は、毎年、子宮がんと乳がん検診では無料クーポン券を対象年齢の方に配布している。また自己負担についても現在 1,000 円で受けられる。その他に大学生や高校生に対して出前講座なども行っている。昨年新たに行った取組とは、リピート率を増やすことを目的に、過去に子宮がん、乳がん検診を受けた方で、最近 3 年間受けてない方にハガキを送ったので、そのあたりで受診率が上がったと考えている。 がん検診については、市がスーパーなどでピンクリボンキャンペーンを行っており、私も協力したことがあるが、もう今年は受けたという人もいて、毎年増えている印象。また胃がん、子宮がん、乳がん検診は 2 年に 1 回しか受診できないから、この受診率も年度によって違ってくるの
---	---

事務局	かなと思う。 2年に1回しか受けられない胃がんと子宮頸がんと乳がんは、2年間分の受診者を足して受診率を出している。2年1回という理由で受診率が低いということはない。
会長	資料3について、目標値や自殺死亡率の推移などご意見はないか。昨年の議論で、相談したいときに相談できる場所が思い浮かぶような取組を推進していこうとなった。こころの相談窓口を知っている市民の割合はかなり増えてきているといった結果も出ている。自殺の数値としては少ないが、ただそういった相談ができれば、悩んでいる方の救いになると思うので、引き続き取組の拡充が必要だと思う。他にあるか。
委員	自殺の目標指標で、人口10万人あたりの自殺死亡率は1件でも増えると数値が変わってしまうので、この5年間の取組の評価としては出にくいところがある。現状値21.87人に対して、令和6年の最終目標15.03人ではなくて、例えば次の計画期間中の5年間の平均でどれだけにするというような数字の出し方にした方がいいと思う。宇部市で自殺対策計画を昨年度作った時もそうだった。
事務局	参考にさせていただきたい。 (3) その他 特になし
会長 オブザーバー	オブザーバーから本日の協議に対して御助言いただければと思う。 健康増進計画の中間評価を見せていただいて、すごく改善しているところもあった。県の方でも、やまぐち未来維新プランという計画に沿って、「生涯を通じた健康づくり推進」を掲げ、同じように健康づくり計画を策定し、取組を推進している。保健所管内においても、職域の健康づくりに力を入れるべく、地域職域連携推進事業として、市や企業、団体とも連携して、健康づくりや生活習慣病対策ということでやっているの、引き続き、皆様と連携しながら、一緒に推進していけたらと思っている。 4 その他 ・健康で長生のまちづくりフォーラムについて ・スマイルエイジング強化月間の取組について (事務局から説明) 質問等は特になし 次回の日程を示して閉会した。